



富山県立大学

生物・医薬品工学研究センター

講演会

「ゲノムで探る日本人の成り立ち」

日時

2025年10月30日(木)

16:00~17:30

場所

富山県立大学 中講義室

※対面のみ(オンライン開催なし)

入場
無料

講師

国立科学博物館・館長
篠田 謙一 博士

篠田博士は、古代の人骨などにわずかに残るDNAを分析し、人類の起源や日本人の成り立ちについての研究を続けてこられました。2019年には、日本で初めて縄文人の完全なゲノム解析を成功させるなど、画期的な成果を挙げておられます。さらに2023年からは、日本最古の旧石器時代人骨として知られる沖縄県・石垣島の白保竿根田原洞穴遺跡から出土した人骨のゲノム解析を、2022年ノーベル生理学医学賞を受賞したスバンテ・ペーボ博士のチームと共同で進めておられます。また、南米アンデスの古代文明と人々の移動・集団構造についての研究にも取り組まれてきました。2023年には、国立科学博物館のクラウドファンディングを主導し、国内最高額となる9億2千万円を集めたことでも注目を集めました。著書には『人類の起源』(新書大賞2023第2位)、『江戸の骨は語る』(科学ジャーナリスト賞2019受賞)、『DNAで語る日本人起源論』、『新版 日本人になった祖先たち』などがあり、幅広い読者に向けて人類の歴史をわかりやすく伝える活動も行っておられます。



申し込み方法

学外参加希望者は、E-mailにて
下記宛にご連絡ください。

[連絡先]

〒939-0398 富山県射水市黒河5180
富山県立大学
生物・医薬品工学研究センター
担当/加藤 康夫
Tel.0766-56-7500(内線1514)

E-mail

ykato@pu-toyama.ac.jp